

# 文教常任委員会

## 合志市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

近隣市町の状況は。

**問** 平成24年度は合志市と菊陽町が税率を改正し、同じ条件(4人家族、夫40代・給与収入、妻40代・収入なし、子ども2人)では、熊本市・菊池市・大津町は昨年改定しており、24年度税額は熊本市415,000円、菊池市401,400円、大津町386,400円。菊陽町は2年連続の改定で23年度385,800円、24年度は401,700円で計42,900円の値上げ。合志市は23年度が358,900円で、24年度が397,600円の38,700円の値上げとなる。

**問** 国保加入者は何割で、どのくらいの年収の人が多いのか。約10%税率が上がった場合の徴収率の予測と保険料を払えない人の対策は。

**答** 国保加入者は2月14日現在13,657名、約25%。200万円以下の所得の方が約8割。徴収率は91%見込んでおり、23年度より若干低い率ですが税務課に頑張ってもらいたい。保険証の取り扱いは、納期限を1年過ぎた人には短期保険証(通年ではなく、3か月もしくは6か月)を、

## 合志市介護保険条例の一部を改正する条例について

悪質な人には資格者証を渡している。滞納については呼び出しもするが、戸別訪問で面会して短期保険証を直接交付するようになっている。短期保険証が増えると考えている。収納率は、19年度94.06%、20年度91.27%、21年度90.19%、22年度91.43%、23年度は2月末現在、昨年が86.84%だったのが87.68%と約0.84%上がっており、最終92%近くまでいくと予測している。19年度から20年度の大減は、20年に後期高齢者医療が始まり納税意識の高い層が移ったのと保険税の改正にある。目標は高い方がいいが難しく、22年度の91.43%程度は確保したい。

## 合志市介護保険条例の一部を改正する条例について

**問** 介護報酬の改定率が当初の12%から0.7%になったことで5189円になっているが、切り捨てと切り上げでは大きく違う。策定委員会の意見と、5100円と考えたのか。

**答** 策定委員会からは、この件に関して特段意見はなかった。5189円は一人当たりの月額で、被保険者は約1万人以上おり、3年間89円を切り捨てて計算す

## 平成24年度合志市一般会計(福祉課関係)

**問** 委員会では施策評価で緊急雇用対策を引き続き行い就労支援を強化するように指摘した。生活就労支援は大きな成果を出している事業だが、今年度の実績と、住宅手当緊急特別措置事業で24年度どのようにそれが反映されているのか。

**答** 住宅手当緊急特別措置事業は全額国負担である。離職することと住宅手当を受給される方とともに、生活保護の対象者も就労支援を利用して良いので、7か月で八〇〇ワークに同行や自宅訪問、就労勧奨、電話喚起等で300件を超える接触を行い、1人が就労して生活保護から脱却、6人が就職されて収入認定額との差額を支給している。また、就労支援で職業訓練校に3名行っている。就労支援員を去年は7月から配置したのを、24年度は4月から配置する。

## 認可外保育所に助成を増額する考えはないか。

**答** 23年度事業仕分けに認可外保

## 平成24年度合志市国民健康保険特別会計予算について

**問** 国の特定健診の受診率目標は24年度までに65%だが、合志市は目標に近づけるためにどのような努力をするのか。

**答** 24年度は目標を41%に置いている。65%は難しいが、国が目標にしている以上は啓発などいろいろな形で少しでも近づきたい。



特定保健指導

## 合志市立図書館条例の一部を改正する条例について

図書館協議会委員の任命について。

**問** 図書館法第15条、第16条が改正され、自治体が定めることとなった。

**問** 国の第3次補正予算に伴う継続費補正の年割額について。

**答** 西合志南中学校体育館、武道場改築事業において継続費の総額は変更ないが、2億9600万円が平成23年度事業として採択されたので、年割額の補正を行なった。

**問** 総合センターの電気代の増額補正について。

**答** 平常の電気代は、月150万円程度だが、夏場、冬場のピーク時には200万円を要する月もある。市内外からのVIPの利用が増えていることが考えられる。

**問** 地域人権啓発教育課について。

**答** 指導員の病欠入院のため、5か月分の報酬の減額分である。

## 平成24年度合志市一般会計(学校教育課)

**問** コミュニティスクールについて。

**答** 地域の方々の様々な力をお借りして、学校単位で地域にコーディネートし、組織的に運営をしていながら子どもたちの学力向上につなげていきたい。

**問** ことは教育について。

**答** 市のまちづくり提案制度による第1号の認定事業であり、4月からの導入に向けて検討を進めている。家庭でも地域でも、ことはを大事にした教育が展開していれば本市の教育に効果的である。

**問** 子どもフェスティバル実行委員会の補助金の減額について。

**答** 子どもフェスティバル実行委員会を組織している中で充分議論をした上で10万円の減額をしても実行できる予算である。

**問** 西合志図書館改修事業について。

**答** 図書館が建設されて17年が経過しており、屋上の表面が劣化しており、防水改修を行なう。



西合志図書館屋根

## 部活動解放同盟合志支部補助金

**問** 部活動解放同盟合志支部補助金について。

**答** 部活動解放同盟合志支部補助金について。日本特有の差別でもあるし、差別をなくするための活動をしている団体への補助金なので必要な予算である。

**問** 解放子ども会学習会の講師謝礼及び消耗品費について。

**答** 講師の先生は、情熱を傾けて指導されている。子どもたちの学力を高めるための教材であり、教育啓発のために必要な予算である。



給食センター工事

## (反対討論)

基本的に部落差別が解消されている中で、補助金が支出されれば差別が固定化される。教育啓発以外に会議や集会参加にも支出されている。解放子ども会開催事業については本市のすべての子どもたちに平等に教育の機会を与えるべきで全体的な子どもたちの基礎学力の向上のために予算を執行すべきである。

## (賛成討論)

いまだなくならない、差別の問題や他にも色々な人権問題がある。理不尽な差別により、こころの葛藤で苦しんでいる子どもたちに対してより、一層の差別の解消に向けて教育啓発のための予算である。